

倫理、公共（令和8年度）本試験 解答・解説

【問題構成】

大問	科目	テーマ及び分野
1	公共	社会保障制度の現状と課題
2	公共	文化と宗教
3	倫理	源流思想、西洋近現代思想
4	倫理	日本思想（理と情）
5	倫理	心理学（BMI、QOL など）
6	倫理	現代の諸課題（人間と自然）

*平均点 64.24

【傾向分析】

「公共、倫理」の昨年度の問題は大問6、解答数33であったが、今年度は解答数32となっており、1問少なくなっている。また、第4問は日本の思想、第5問が認知心理学からの出題となっており、定着してきたといえる。昨年度より易化した。

第1問・第2問は、「公共」からの出題。第6問とも関係している。第1問は、社会保障制度との関わりからロールズの格差原理、経済活動、財源、再分配のあり方等が問われており、図表の読み取りがある。第2問は、文化や宗教についての基本的な語句の理解、資料の読み取り問題、政教分離をめぐる最高裁の判例等が問われた。

第3問からは「倫理」からの出題。源流思想と西洋近現代思想の融合問題となっており、昨年度と同様の出題形式となっている。旧課程のように、源流思想と近現代西洋思想とが分かれていない。また、資料の読み取り問題が多用されている。

第4問は、日本の思想としての単独出題である。その他、会話文が多用されており、空欄の前後をしっかりと読み取り、会話の人物の主張内容を理解しておかなければならない設問が見られる。また、絵図と会話文による語句の組合せ問題が出題された。

第5問は、心理学からの出題である。この問題は新課程で導入された心理学からの出題で、従来のような青年期の心理を扱う内容ではない。教科書にない語句が出ているが、設問及び会話文をしっかりと読み込んでいくとよい。

第6問は、「公共」の学習内容とも重複しており、アメリカの政治哲学者ノージックがどのような考え方をしたのか理解が問われる（第1問の問1のロールズ

と比較しておこう）。また、自然との関わりで思想家の理解が求められている。環境倫理としてカーソン、レオポルドなどは基本的な内容である。

第1問

ロールズをベースとした社会保障制度における再分配、経済活動、財源として対GDP比の国際比較、再分配のあり方が問われている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
★第1問	1	1	②	3
	2	2	⑥	3
	3	3	②	3
	4	4	③	3

★「地／歴／公」「公、政経」共通問題

問1 一正解②

生徒Aのメモでaは、地方自治体が行っているの**で公助**である。bは、「住民が食料を相互に持ち寄って飢えをしのいだ」とあるので**共助**である。災害救助に関しては、自分自身の身の安全を守る**自助**という考えもある。生徒Bのメモに関しては、ロールズの「**公正としての正義**」における「**格差原理**」とは、不平等が残ったとしても、**社会の中で最も不遇な生活を強いられている人々に対して、それらの人々の境遇を改善すること**である。生徒Bのメモのcは、ベンサム**の功利主義的な考え方**になっている。

問2 一正解⑥

A **GDP（国内総生産）**とは、国内で通常一年間に生産された総生産額から中間生産物を差し引いたもので、新たに生産された**付加価値**を計算したものである。社会資本とは、社会全体にとって必要な公共性のある資本のことである。

イ **経済成長率**を高めるためには、企業などによる新しい生産方法や生産活動が必要であるので、**イノベーション（技術革新）**が重要である。**セーフガード**とは、特定の品目の輸入が急増し、国内産業に重大な影響を与えるおそれがある場合に、関税の引き上げや輸入数量の制限などによって国内産業を保護するための緊急措置である。**緊急輸入制限措置**といわれる。

ウ **累進課税制度**における代表的な税とは**所得税**である。消費税は逆進性がある。

問3 一正解②

スウェーデンの「合計」の50%とは $30.4 \times 0.5\%$

で 15.2%である。一般政府拠出は 16.2% なので 50%を超えている。

① フランスは、事業主拠出は 13.2%，被保険者拠出は 5.7%で合計 18.9%，一般政府拠出の 16.2% よりも高くなっている。また、ドイツは合計 21.7%で、一般政府拠出の 11.6% よりも高くなっている。両国とも高くなっているので誤り。

③ 日本の場合、合計に対する被保険者拠出の割合は、 $7.2\% \div 25.4\% \approx 28.3\%$ で、40%を下回っているため誤り。

④ すべての国ではなく、日本だけが事業主拠出が 7.0%，被保険者拠出が 7.2%と、被保険者拠出が高い。

問 4 4 一正解④

ア 誤り。国民健康保険は、健康保険や共済保険に加えていない人が対象となるので、すべての人ではない。

イ 正しい。公的扶助とは生活保護と同義で、「最後のセーフティネット」といわれるもので、考え方 Y の内容として正しい。

第2問

グローバル化が進む現代社会の文化や宗教に関して、文化の捉え方、最高裁の政教分離をめぐる判例が問われている。問2は、日本で暮らす外国人の動向に関する統計資料の読み取り問題となっている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
★第2問	1	5	④	3
	2	6	②	4
	3	7	①	3
	4	8	④	3

★「地／歴／公」「公、政経」共通問題

問 1 5 一正解④

ア 空欄の前に「自分たちの文化が優れていると考える」と言い、これに「陥らないよう注意したい」と述べているので、b の **エスノセントリズム** である。a の **多文化主義** とは、同一の社会内にあって複数の文化の共存を目指し、多様性を受容する考え方。c の **文化相対主義** とは、文化には優劣の差はなく、それぞれの民族の歴史や固有性を尊重すべきであるとする考え方。b も c も、エスノセントリズムを批判する文化観である。

イ 空欄の前の B の発言である「何らかの文化遺産

制度による認定や登録をとりわけ重視する姿勢をとる」に注意すると、e の内容が適当とわかる。

問 2 6 一正解②

ア 資料1の読み取りは正しい。資料2で「留学」が最も高いのではなく、「永住者・定住者」であるので、誤っている。

ウ 資料1の読み取りは正しい。資料2で「永住者・定住者」が高いとしているが、「技能実習・特定技能」が最も高いので、誤っている。

問 3 7 一正解①

津地鎮祭訴訟に関する最高裁の判断は、違憲ではなく、合憲である。地鎮祭は工事の無事安全を祈る社会の一般的慣習としての儀礼だとして公金の支出を認めた。

なお、②③④は、いずれも違憲とされた内容。

問 4 8 一正解④

ア 空欄の前にある初詣、節分、お彼岸などはいずれも **年中行事** である。**通過儀礼** とは、人生の重要な節目に行われる儀式で、冠婚葬祭がこれにあたる。

イ 空欄の前に、マンガ、小説、映画などによって何らかの影響を受け、生き方が大きく変化したとあるので、捉え方 Y が適当とわかる。

第3問

「悪とは何か」をテーマに、場面1～3において源流思想及び西洋近現代思想から出題されている。問2でスーフィズムが出ている選択肢があるが、教科書にはあまり説明がない語句である。問5でアメリカの哲学者チャールズ・スティーヴンソンの授業資料は、名前を知らなくても対応できる読み取り問題となっている。知らない思想家が出題された場合、知識を問う問題ではなく、資料などの読み取り問題が多いので驚かないようにしよう。他は、基本的な問題もあれば、資料をしっかりと読み込んでいく必要がある問題もある。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第3問	1	9	①	3
	2	10	③	3
	3	11	⑥	3
	4	12	⑦	3
	5	13	③	3
	6	14	①	3
	7	15	④	3
	8	16	⑤	3
	9	17	⑥	4

問1 9 一正解①

荀子の性悪説は、人間の欲望のままにしておくとし、争いがおこるため、規範である礼によって矯正すべきとした。

② エラスムスが「自らの自由意志によっては善を志すことができない」とし、自由意志を否定しているのが誤り。彼はルターとの自由意志論争で、自由意志を否定するルターと対立した。

③ マキアヴェリが「君主は暴力という悪を用いず、慈愛の力によって民衆の支持を得」というのが誤り。彼は目的のためには手段をえらばずとして権謀術数を説いた。

④ 王陽明が「心の中から感情や欲望を除去すべきだと考えた」とするのが誤り。彼は心即理であると説き、善悪を判断する心である良知のままに生きることとを説いた。

問2 10 一正解③

グロティウスは、神定法ではなく、理性の命令である自然法を説き、近代自然法思想の先駆けとなった。

① 『旧約聖書』に出てくるイザヤは、ユダ王国で活躍した預言者で、悔い改めることでメシアによる支配の到来を説いた。王や祭祀の信仰を称賛したのではない。また、イスラエル王国の滅亡に立ち会った。

② スーフィズムとは、イスラーム神秘主義のことで、踊りや瞑想により神との一体化を求める内面的な信仰をいう。ジハード（聖戦）は、社会を守り拡大していく外面的な行為である。

④ 全体意志に従うべきだとするのが誤り。ルソーは、自由・平等を志向する共通の意志である一般意志を重視した。

問3 11 一正解⑥

ア 対話の中で、ソクラテスは「不正は、どうあってもなすべきでない」と述べていることに注意すると、魂への配慮を何よりも優先してよく生きることを実践しようとし、自他のあり方を吟味することの重要性を説いている。「世俗を離れ、魂の平安を重視する」（アタラクシア）とするのはエピクロスの考え方である。

イ アとの関係で、ソクラテスはよく生きることと正しく生きるとは同一であり、脱獄をすることは不正であって、自らが実践しようとする魂への配慮を欠く行為となると考えた。

問4 12 一正解⑦

ア 「既成の道徳は、強者に対する恨み」とはルサン

チマン（怨恨感情）と呼ばれるもので、これを克服することを説いたのはニーチェである。

イ 「理性は情念の奴隷にすぎない」と述べたヒュームの内容である。人間は快・不快のような情念によって動機づけられているとする。

ウ 「原始的な衝動を抑圧し、行動を制御している」とあるので、精神分析学者のフロイトである。超自我は社会規範の領域にあって、自我を統御し抑制すると考えた。

問5 13 一正解③

「幼稚園で子どもが大きな声を出して遊ぶことは、教育上有効である」という点で信念が一致していても、その態度について不一致の場合がある。授業資料の最後に「判断を述べるなかで信念が一致したとしても、態度が一致するとは限らない」と述べられている。

① 「判断を述べることは、話し手の感情を表しており、信念を述べているのではない」とするのが誤り。信念と態度の両方を述べている。

② 子どもの声に苦痛を感じている人々は、教育的効果を認めていない点でも一致するとしているのが誤り。教育的効果を認めながら、否定的な態度をとることが予想される。

④ 相手の態度を変えるのに役立たないとするのが誤り。

※チャールズ・スティーヴンソンは、アメリカの分析哲学者。授業資料に述べられているように、「信念が一致しているからといって態度が一致するとは限らず、また態度が一致しているからといって信念も一致しているとは限らない」としている。また、道徳判断の本質はその情動的意味にあり、話者の感情を表明し聴き手の態度に影響を与えることがその目的であるとして、倫理学における情動説を説いた。

問6 14 一正解①

ア 正しい。アウグスティヌスは、心の内に目を向けると自分自身に出会い、神の愛である恩寵によってのみ贖罪をあがなえるとした。

イ 正しい。モンテーニュは、「私は何を知っているのか（ク・セ・ジュ）」という懐疑の精神で、既成の権威などにとらわれない真理の探究を説いた。

ウ 誤り。「義務に基づくのではなくても、義務にかなっていれば道徳的に善い」が誤り。カントは、道徳的な行動を義務として実践しようとする善意志に無条件に従う道徳法則を説いた。

問7 15 一正解④

資料1の『ダンマパダ』は『法句経』ともいわれ、

「ダンマ」は「ダルマ（法）」を、「パダ」は「言葉」という意味である。上座部系に重視された。また、資料2の『維摩経』は在家である維摩によって説かれたといわれ、「空」の思想などが説かれている。

資料1は、自らを中心とし「自ら悪をなさないならば、自ら浄まる」とあるように、悪を捨てて善への道を説いている。資料2は、涅槃の道を道とすることで、輪廻の流れを捨て去ることもないと言っている。悪を捨てなくとも、善への道を進むことが可能だと考えている。

- ① 資料1・資料2ともに輪廻のことを説いているのではない。善悪について述べている。
- ② 資料1・資料2ともに善悪について述べてはいるが、善悪の区別を説いているのではない。悪に対する向き合い方を問題にしている。
- ③ 資料1・資料2ともに他者を救済することを述べているのではない。他者を救済するとか、しないとの問題ではない。

問8 一正解②

ア アーレントは『人間の条件』で、人間の実践的生活を「労働」「仕事」「活動」に区別し、複数の人間と人間との関係を「活動」とし、最も重視した。倫理の実存とは、キルケゴールが説く実存的生き方の三つの段階（美的実存、倫理の実存、宗教的実存）のうち第二の段階の内容である。

イ ヤスパースは、実存を自覚した者は互いに高め合う人格的交わりを実存的交わりとして他者との結びつきを強調した。投企は、サルトルの用語。

ウ イを踏まえて、ヤスパースの実存的交わりは、理性と愛をもって互いに真実を戦わせるが、これを「愛しながらの戦い」として人間と人間との真摯な出会いがあると。公共空間を形成する」とはアーレントの考え方。

問9 一正解②

場面1～3のHの発言を確認する必要がある。場面1～3は複数ページにわたって記されているので、しっかりとどの文が場面1～3に該当するかを確認しながら問題を解くことが必要である。

ア 場面2の2番目のHの発言「どうしても自分には我慢できないという人の感情も理解できるんだ。理屈と感情のどちらが大事かという話ではなく、どっちも大事」とあるので「論理だけではなく感情にも」が適当とわかる。

イ 空欄の後の「良心に基づく内的制裁の重要性を説いている」とあるので、質的功利主義の立場である

J.S. ミルである。

ウ 場面3の1番目と2番目の先生の発言からすると、「自覚がないままに加担してしまう悪」が適当と判断できる。

第4問

「理」と「情」をめぐる日本思想からの出題で、問1は森鷗外が問われ、問2では絵図を用いた内容であるが、会話文から基本的な内容となっている。問3は和辻哲郎の「風土論」、問4は「義」と「法」をめぐる赤穂事件の問題である。問5は坂口安吾の『墮落論』からの資料読み取り問題である。例年と比較してやや易しくなっている。基本的な設問ばかりなので、確実さが求められる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	1	18	③	3
	2	19	⑧	3
	3	20	①	3
	4	21	②	3
	5	22	④	3

問1 一正解③

ア 森鷗外の小説『舞姫』は近代的自我に目覚めた個人が社会との間における葛藤、苦悩に対して順応していくさまを描いた作品で、そこに埋没しない生き方を見出そうとした内容である。一方の自己を貫き通すことで新しい時代の人間のあり方を求めたのは、福沢諭吉の考え方である。

イ 自我と社会の矛盾を統一する道を俗世間に安んじつつも、埋没しない境地を鷗外は「諦念」（レジダナチオン）と呼んだ。一方の「独立自尊」とは福沢諭吉の言葉である。

問2 一正解⑥

ア 空欄の後に「厭離穢土・欣求浄土」をテーマにした書物とあるので、『往生要集』を著した源信とわかる。

イ 臨終の時に自分を迎えに来て、極楽に連れて行ってくれるとあるので、阿弥陀仏のことである。大日如来は、密教の本尊として仏・菩薩を包摂する存在である。

ウ 源信が説いた往生のための行とは、心に阿弥陀仏の姿を思い浮かべるもので、これを観想念仏という。専修念仏は、法然の説いた極楽往生のための行で、専ら念仏を称えることをいう。

問3 20 一正解①

和辻哲郎は『風土』で、日本や東南アジアを含んだ地域を**モンスーン型**、西アジア地域を**砂漠型**、ヨーロッパを**牧場型**とした。それぞれの自然や人間の特徴をモンスーン型は自然に対して受容的・忍従的とし、砂漠型は戦闘的・対抗的、牧場型は主体的・征服的とした。

ア ヨーロッパの自然環境とあり、合理的な発想や考え方とあるので、「おだやかで従順な」が適当である。「恵み豊かだが暴威も振るう」のはモンスーン型、「恵みに乏しく、厳しい」は砂漠型である。

イ 日本の自然環境とあるので、「恵み豊かだが暴威も振るう」が適当である。

ウ 日本のような自然環境はモンスーン型なので、「受容的」が適当である。

問4 21 一正解②

荻生徂徠の意見は、先生Tの言葉にある「徂徠擬律書」の内容を読むとわかる。侍が主君の仇討ちをしたのは**義**だが、幕府の許可もなく仇討ちしたことは法に反する（不義）といい、公論と私の論をはっきり区別することが重要としている。このことから法を重視していることがわかる。

① 浪士たちの行為は、義にかなうものの私の立場であるため、義を重視するだけではない。

③ 義を根本に社会を安定的に統治するための武士道とは述べられていない。

④ ③と同様に、儒教道徳を根本に社会を安定的に徳治するためとは述べられていない。

問5 22 一正解④

坂口安吾が『墮落論』で批判した価値観とは、国家や天皇、それを支える社会を最上位におき、個人よりも国家、天皇や社会を優先する生き方であった。敗戦によりそれらの価値基準が虚構であったとしている。**墮落**は、通常の意味での腐敗や退廃ではなく、人間の自然な姿に立ち返ることであり、逆説的に述べることで「墮ちる道を墮ちきる」ことによってでしか、人間は本当に立ち直れないと主張した。その意味で、④が適当である。

① 「墮ちきっていたからこそ戦争に負け」たとしているのが誤り。

② 敗戦によって人々が墮落したとするのが誤り。墮落とはそうした意味で述べているのではない。

③ 従来の「価値基準や権威に頼りたがるのは、精神が墮落しているから」とか、「新しい時代にふさわしい生き方を模索」すべきとしているのが誤り。

第5問

「人間の脳と人工知能」をテーマにした**認知心理学**を中心とする大問である。この分野からの大問は昨年からは単独で出題されている。会話文は**BMI（ブレイン・マシン・インターフェイス）**が取り扱われているが、設問自体に説明がある。問1はエクマンの基本的感情のこと。問2は、二要因論とあるので、シャクターとシンガーによる実験を扱った読解問題、問3は選択肢が5択になっているのが特徴。問4・問5ともに、選択肢を読み込んでいき、問4ではQOLとの関係に注意しなければならない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第5問	1	23	㉓	2
	2	24	㉑	4
	3	25	㉒	3
	4	26	㉔	3
	5	27	㉓	4

問1 23 一正解③

アメリカの心理学者**エクマン**によると、**基本感情**には**6つ**あるという。**恐れ**、**怒り**、**悲しみ**、**幸福**、**嫌悪**、**驚き**である。したがって、③の嫉妬だけが違う。

問2 24 一正解①

二要因理論は、**アメリカの心理学者シャクターとシンガー**によって主張された理論で、心拍数の高まりなどの身体反応と、その原因の解釈である感情経験で決まるとする。

通知条件下では、参加者は「飲料には、副反応として心拍数・呼吸数を上げる作用がある」と通知されているので、心拍数・呼吸数上がるのは、滑稽なふるまいが原因ではないと考える。そのため情報が通知されなかった非通知条件下の参加者や、誤った情報を通知される誤情報条件下の参加者よりも、滑稽な振る舞いによって楽しい気分になるという割合が相対的に低くなると予測される。

非通知条件下の参加者は、飲料による副反応を知らされないの、滑稽な振る舞いを見て、楽しい気分になるのはこのためであると考え割合が高くなることが予測される。

誤情報条件下の参加者は、飲料によって心拍数、呼吸数下がると通知されるので、飲料によって心拍数、呼吸数上がったとは判断せず、飲料とは別の原因、つまり滑稽な振る舞いによって楽しい気分になるという割合が高くなることが予測される。

問3 25 一正解②

AIと異分野融合の倫理・法・社会的課題(ELSI)について、どこに問題があるかを読み取っていく必要がある。生徒の授業集中度のデータ収集とその解析については、生徒個人の情報が漏洩する可能性もあるので、プライバシーの権利に注意しなければならない。

①「個人情報保護法の適用外」が誤り。遺伝や病歴に関する個人情報は保護の対象になる。

③「農業・畜産業での活用は進んでいない」が誤り。近年、早いスピードで活用が進んでいる。

④「人種差別的な犯罪捜査が減っている」が誤り。AI分析を通じて差別的な面での利用が問題になっている。

⑤自動運転技術の実験は公道でもなされており、社会的実験として取り組まれている。

問4 26 一正解④

イBMIの使用については、外部からのハッキングによって個人情報の流出などが指摘されている。

カBMIは高度な医療技術で、技術開発などで巨額の経費が必要になり、また技術の習得も難しくなるため、多くの人のQOL(生活の質)の向上のためには公平にアクセスできるようにする必要がある。

ア「上回ることはない」が誤り。QOLは身体機能だけでなく、BMIで社会に参加することで上回る可能性などいくつかの要素がある。

ウ研究が発達すると脳の性差に対する認識も変化する可能性があり、「社会的イメージが固定される」というのが誤り。

エ「優生学(優生思想)に依拠することが重要」とする考え方そのものが誤り。依拠してはならない。

オ「他者が自由にBMI使用者の感情を高揚させたり抑制したりできる」となると、他者による感情の操作につながり使用者の自立や尊厳を損なうこととなり、使用者のQOLは低下するので誤り。

キBMIを用いた認知機能は、パーソナリティの侵害にあたる倫理的な問題であるため誤り。パーソナリティが大きく変化することは許容されない。

問5 27 一正解③

立場の違いに注意すると、aでは脳の情報の収集・活用を「国は積極的に行うべき」の立場である。国が「知見やサービスに誰もがアクセスできること」を人々の権利の一つとして保証するべきと述べているので、イが適当である。

bでは「最大限慎重にするべき」の立場である。脳の情報は国際的に「特に注意が必要な個人情報」であ

るため、国は配慮する必要があるので、アが適当である。

ウは、「国際的なルールの策定に参画することは、技術開発の可能性を拡大」することなので、必要ないとするのが誤り。

エは、法律改正の根拠や裁判における証拠として、国は脳の情報を収集・活用するのではないので誤り。

第6問

会話文の最後にあるように「人間と自然との共生」がテーマとなっており、現代の諸課題の分野である環境倫理を中心に出题されている。問1はアメリカの政治哲学の一つであるノージックのリバタリアニズム、問2は環境に関する思想、問3は「 」になっている語句との整合性を問うている。問4は、カーソンの『沈黙の春』からの資料読み取り問題。問5は水俣病をめぐる会話文の読み取り、環境倫理の知識が問われている。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第6問	1	28	①	3
	2	29	②	3
	3	30	⑥	3
	4	31	③	3
	5	32	⑦	4

問1 28 一正解①

ノージックのリバタリアニズム(自由至上主義)

は、何よりも自由を重視し、平等や正義などの観点を持ち込むべきではないし、最小国家であるべきだとする考え方である。したがって、個々人は所有物を正当に保有する資格を持つとする権限(権原)がある。

②「権限(権原)をもつわけではない」としているのが誤り。

③「社会全体の福祉」のために、「所有物を取り上げることも許される」としているのが誤り。

④「権限(権原)をもつわけではない」「所有物を取り上げることも許される」としているのが誤り。

※アメリカの政治哲学者として、リバタリアニズムを主張したノージックのほかに、第1問の問1でも出題されているリベラリズム(自由主義)のロールズやコミュニタリアニズムのマッキンタイア、サンデルなどが挙げられる。比較しておくとい。

問2 29 一正解②

「生きようとする意志」や「生きようとする生命に

囲まれている」とする「生命への畏敬」を説いたシュヴァイツァーの思想として正しい。

- ① ピーター・シンガーは、動物を実験道具として使用すること自体は認めているが、動物が人間と同程度の苦痛や快楽を感じることがあるにもかかわらず、種が違うという理由で、不平等に扱うことを「種差別」といつている。

- ③ ボールディングが主張する「宇宙船地球号」とは、「開かれた空間」ではなく、閉じられた状況にある地球上の生態系を指しているのので、有限な資源を前提とする経済活動への転換を説いた。

- ④ 「自然が科学的に制御される対象」としているのが誤り。ウェーバーは、自然に限定せず、社会や宗教などから信仰や呪術的な要素が取り除かれ、合理的な手段と知識により理解されることを「脱呪術化」といい、西欧近代において出現したと主張した。

問3 30 一正解⑥

ウ 「世代間倫理」はハンス・ヨナスによって唱えられ、未来世代への責任を説いた内容なので正しい。

エ 「生物多様性」とは、種の多様さとともに、他の生物種をも含んだ考えで、地球上のあらゆる生物種の保全を目指す必要がある。

ア 「共有地の悲劇」を「自然環境という共有資源から一部の国だけが利益を得ることで、他の国々との間で格差が生じる」としているのが誤り。ハーディンによって唱えられた「共有地の悲劇」とは、各人や各国が個別的利益を追求すると資源が枯渇し、やがては全体が壊滅的になるとする考えである。

イ Think Globally とはグローバルの視点で、Act Locally はローカルな行動という観点である。「国境を越える問題については、国際政治の場で国家間の問題として慎重に対応しなければならない」とするだけでなく、身近なところ、ローカルな観点からも行動することが必要である。

問4 31 一正解③

レイチェル・カーソンの有名な『沈黙の春』の読み取り問題。DDT などの農薬がもたらす環境破壊を指摘したもので、③が適当とわかる。

- ①② 「生態系に及ぼす限定的な危害」とは言っていない。資料の最後の2行に「時間をかければ……自然の歩みそのものなのだ」と述べられている。

- ④ 「生命を破壊する自然界の働きが人工的合成物によって促進される」とはどこにも述べられていない。

問5 32 一正解⑦

ア 空欄の前に「海に出て魚を捕って食べることで生きることができるという生活」とあるので、c が適当とわかる。

イ レオポルドの「土地倫理」とは、人間をあらゆる自然物を含む生態系の一員と認識し、生態系の保全に努めるように行動しなければならないとする考え方なので、d が適当である。

ウ 空欄の前の生徒 N の発言に「命を金銭に換算する補償金制度では命そのものに向き合うには不十分」とあり、先生 T が最後に「自然との共生に不可欠な考え方」と述べているので、h が適当とわかる。